

レポートサマリー

NO:1-20130730DGR

ダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社

英語力が上がるごとに平均年収もUP。英語力なしとネイティブレベルでは年収差 1.3 倍。

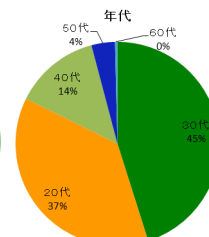
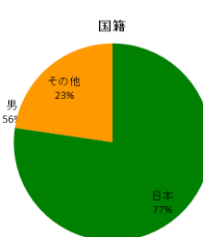
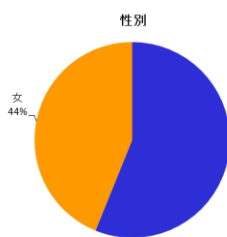
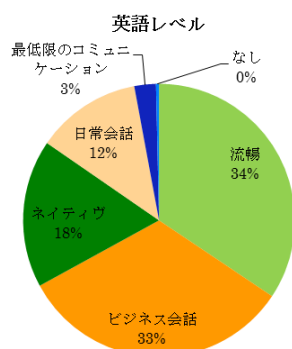
～語学力が年収に与える影響についての調査報告書～

英語力に関する求職者の現状と採用側のニーズを明らかに

ヒューマンホールディングス株式会社の事業子会社で、バイリンガルのための転職・求人情報サイト Daijob.com を展開するダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:篠原 裕二)は、同サイトの登録者のうち企業からスカウトを受けたユーザーの属性や英語力とその年収、さらに採用側の英語力のニーズと想定年収を調査しました。その結果から今後ますます需要が高まらばであろう英語力がどのように転職活動に影響するかを検証しました。

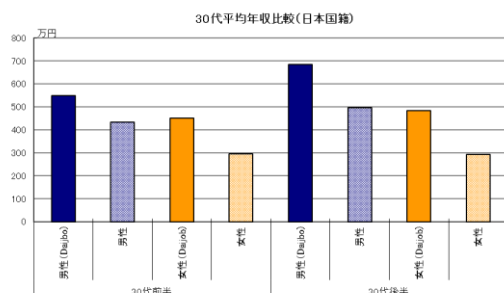
◆ 調査対象の属性

特徴: 流暢・ビジネス会話・ネイティブレベルの英語力を持つユーザーが 85%



上記グラフは 2013 年 3 月～5 月に企業からスカウトを受けたユーザー 3,863 人の属性データです。スカウトを受けた主なユーザーは 20 代後半から 30 代が中心。英語レベルもビジネス会話以上が 85% という結果になりました。

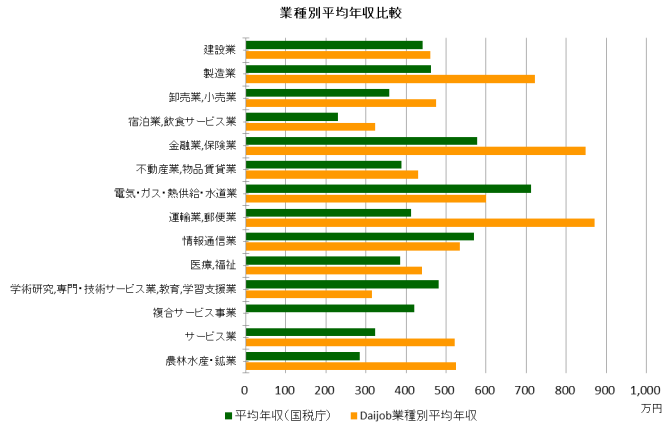
◆ 結果①: 30 代男女別平均年収が国税庁調査(※)の結果を上回りました。



※国税庁による民間給与実態統計調査(平成 23 年分)

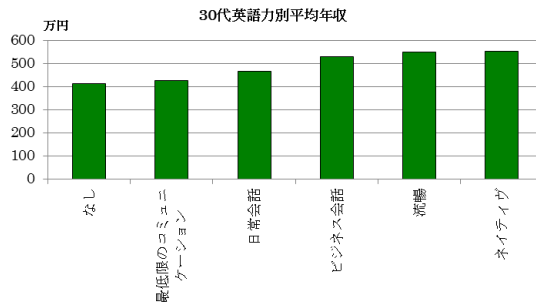
スカウト受信率が一番高かったのが 30 代でした。平均年収は 541 万円(男性 615 万円、女性 467 万円)。特に女性は国税庁調査(※)の平均年収と比較してもその差は顕著に表れました。

◆ 結果②: 約 80%の業種においても国税庁調査(※)による平均年収を上回りました。



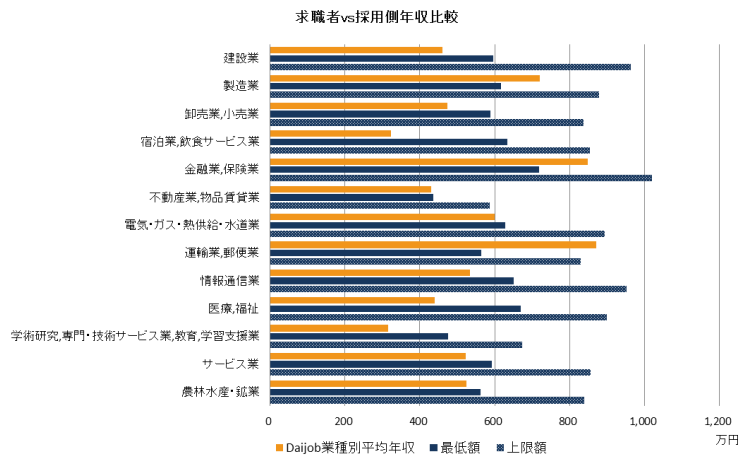
5 業種(製造業、金融・保険業、運輸業・郵便業、サービス業、農林水産・鉱業)において、国税庁調査(※)での平均年収とスカウト受信者の平均年収の差が顕著に表れました。

◆ 結果③: 30 代平均年収、英語力が高いほど高額になりました。



英語力がネイティブレベルのユーザーの平均年収は英語力なしのユーザーの平均年収の1.3倍、金額として約130万円の差がありました。

◆ 結果④: 採用側の想定年収が Daijob.com ユーザーの既存年収を上回りました。



英語レベルをビジネス会話以上に設定している掲載求人の内、70%以上の業種において、採用側の想定年収が Daijob.com 登録ユーザーの平均年収を上回りました。
関連する業界や職種での経験に加えてビジネス会話以上の英語力を併せ持つ人材が不足している事が想定年収を吊り上げる要因となり、その傾向は日本企業のグローバル化と共に今後も高まっていく可能性が高いと考えられます。

※: 国税庁による民間給与実態統計調査(平成 23 年分)

※: Daijob.comとはバイリンガル人材専門の就転職情報サイト(登録会員39万人。内バイリンガル以上96%)

※: ここで言うスカウトとはDaijob.comに会員登録をした求職者が匿名履歴書を公開し、同サイトに求人を掲載している企業がその匿名履歴書を閲覧し、関心を持った求職者に対してアプローチするサービスのこと。

語学力が年収に与える影響について

調査報告書

ダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社

2013/07/30

目次

1.調査の趣旨	2
2.調査の対象	2
3.調査結果詳細	3
3-1. 自社採用企業と人材紹介会社からスカウトを受けたユーザーの属性	3
3-2. 自社採用企業からスカウトを受けたユーザーの属性	4
3-3. 自社採用企業からスカウトを受けた日本人ユーザーの属性	6
3-4. 採用側の必要スキルとしての語学力と想定年収	8
4.考察	9

1.調査の趣旨

日本国内でのグローバル人材の育成が課題となる昨今、経済産業省「グローバル人材育成に関するアンケート調査」によれば、企業がグローバル人材確保に当たって重視する能力は3つあり、1.「外国語でのコミュニケーション能力」、2.「異文化理解・活用力」そして3.「社会人基礎力」である。その中でコミュニケーションの際に共通の言語となりうるのが英語であり、実際TOEIC(R)プログラムを実施・運営する、国際ビジネスコミュニケーション協会が実施した『2013年上場企業における英語活用実態調査』では中途採用社員に期待するスコアが600点から710点に大幅に上昇という結果になっていることから、今後さらに英語力に対する需要が高まってくると予想される。

実際、2013年3月～5月の全求人数のうちビジネス会話レベル以上の英語力を必須としているのは3,492件で、今回の調査対象となったDaijob.com登録ユーザー（下記参照）のうち、ビジネス会話レベル以上の英語力を持ち且つ企業からスカウトを受け取ったユーザーは3,283人、これを日本国籍のみで見ると2,150人であり、そのDaijob.com内での求人倍率は1.62倍であった。これは厚生労働省の一般職業紹介状況（平成25年5月分）の中で発表している有効求人倍率（パート除く）と比較すると倍近くであり、募集しているポジションに対して、要求されるスキルを持つ人材が不足していることを表している。こういった状況の中で、ある一定以上の英語力を持つ求職者は希少として重宝されるのではないかという仮説から、実際の採用側のニーズと求職者側の転職活動における英語力の影響、さらに年収に与える影響を検証した。

※TOEICはエデュケーション・テスト・サービス（ETS）の登録商標です。この（制作物）はETSの検討を受けまたその承認を得たものではありません。

2.調査の対象

スカウト（※2）を受けた＝（イコール）企業の採用ニーズがあったという前提のもと、その採用ニーズに語学力、特に英語力が関係しているのかを明らかにするためDaijob.com（※1）に登録しており、自社採用企業や人材紹介会社からスカウトを受けた求職者17,231人を対象とした。また同時期に掲載されていた掲載求人9,711件についても、そこでの英語力のニーズ、想定年収を検証の対象とした。

※1：Daijob.comとはバイリンガル人材専門の就職情報サイト（登録会員39万人。内バイリンガル以上96%）

※2：ここで言うスカウトとはDaijob.comに会員登録をした求職者が匿名履歴書を公開し、同サイトに求人を掲載している企業がその匿名履歴書を閲覧し、関心を持った求職者に対してアプローチするサービスのこと。

調査の期間

2013年3月～5月の3ヶ月間

調査項目

調査対象者の属性を単純あるいはクロス集計

3.調査結果詳細

3-1. 自社採用企業と人材紹介会社からスカウトを受けたユーザーの属性

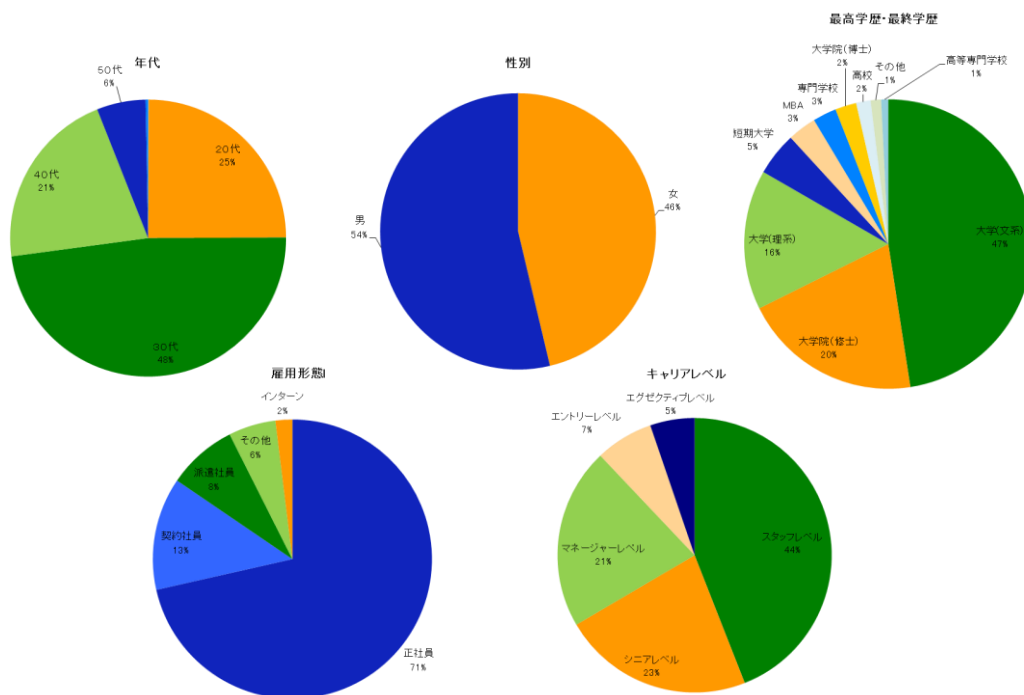
調査対象者のプロフィールについて年齢・性別・国籍・年収・キャリアレベル・最終学歴・職種・業種・語学力の側面から単純集計を行った。

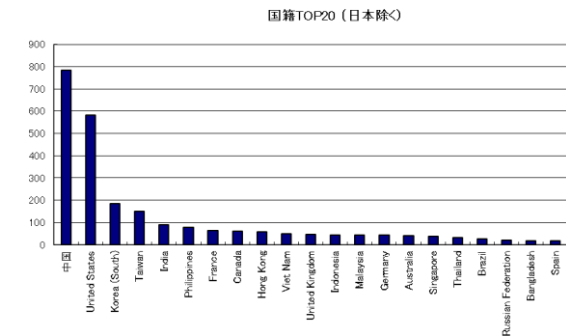
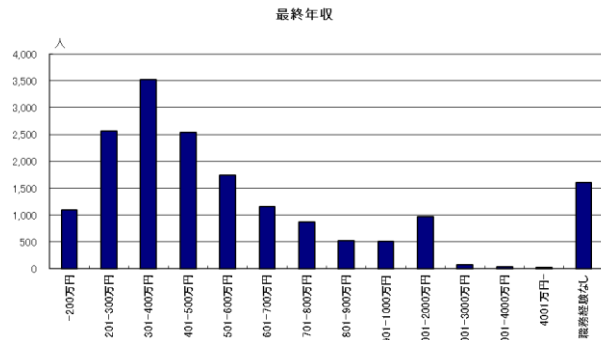
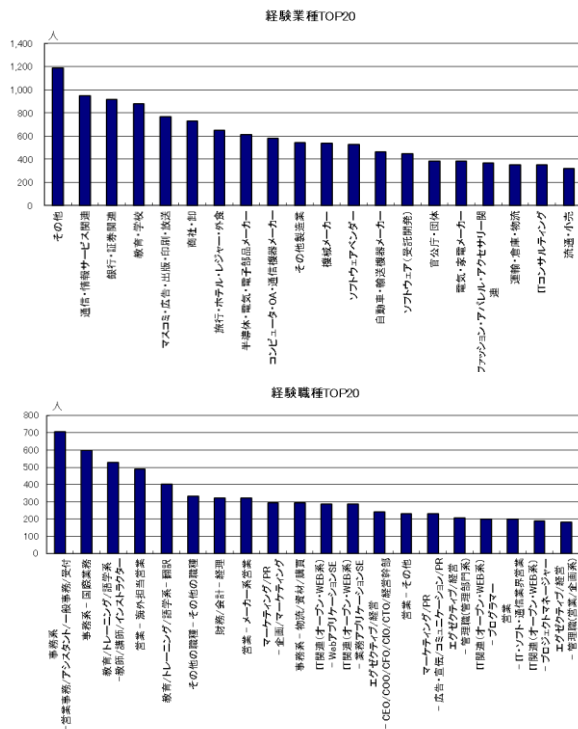
まず2013年3月から5月の間で求人サイトDaijob.comを通じて企業や人材紹介会社からスカウトを受けたユーザーの年齢を見てみると30代が中心、性別は若干男性が多いものの、ほぼ半々の割合といえる。雇用形態は正社員が一番多く、最終学歴は大学（文系）卒業⇒大学院（修士課程）⇒大学（理系）と続く。キャリアレベルも未選択（会員登録時に設定をしなかった求職者）を除くとスタッフレベルが一番多い。

年収は300万円～500万円の範囲がボリュームゾーンとなっている。国籍は日本が突出して多いが、日本国籍×外国籍の比率は3:2となっており、外国籍の中でも中国国籍のユーザーが全体の8%。その他92カ国からユーザーが集まっている。

経験職種は事務系・営業やIT関連が目立つが、経験業種はさまざまである。

語学レベルでは、英語レベルがビジネス会話・流暢が半数以上。また英語力以外の言語スキルとして調査した中国語レベルでは「なし」（未設定）が一番多いもののネイティブレベルが30%であった。日本語レベルにいたっては60%以上がネイティブレベルである。これは調査対象となったユーザーの半数以上が日本国籍であることから当然の結果と言える。

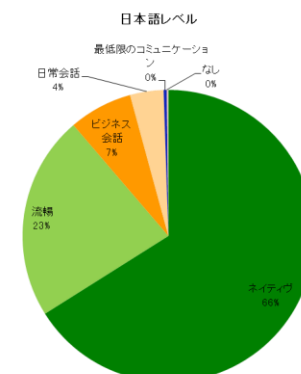
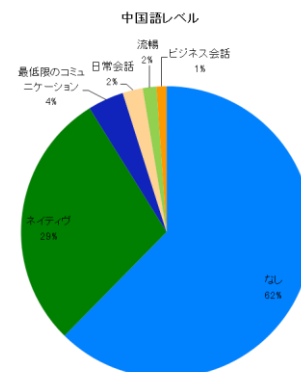
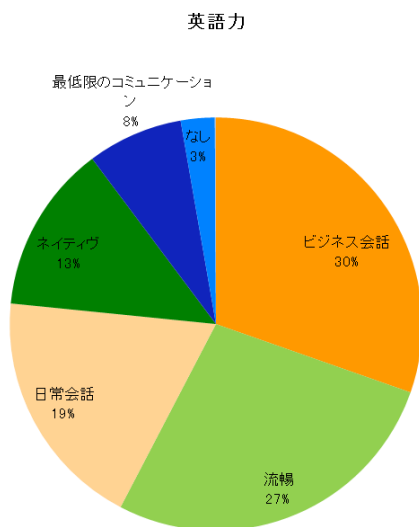




※国籍は上位TOP20を掲載

※職務経験なしには新卒・第二新卒と年収を登録していなかったユーザーも含む

※最終雇用形態は有効回答を得られた16,570名のデータ



※経験業種・職種はそれぞれ上位20を掲載。

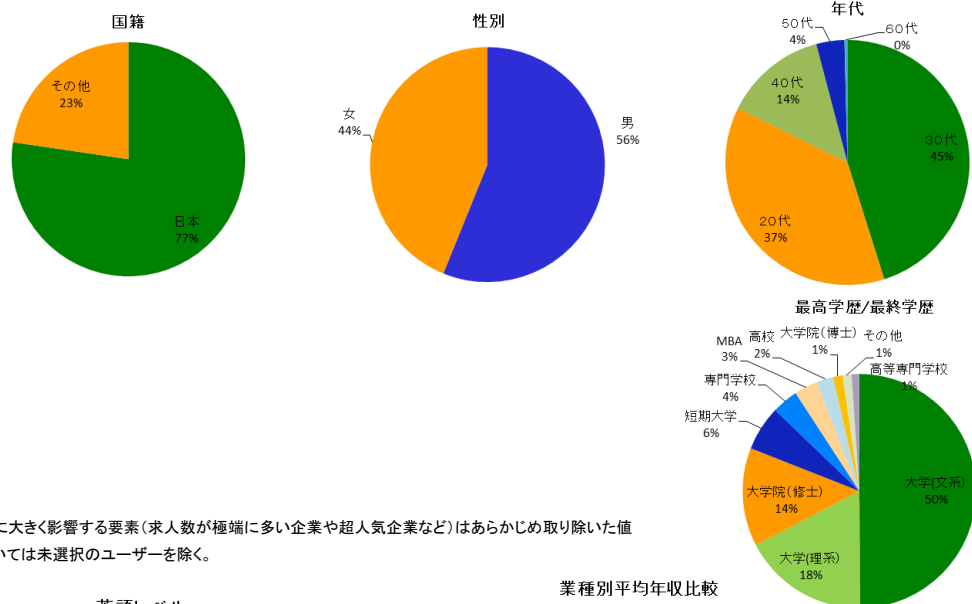
※Dai job.comにはそれ以外に30業種、197職種の利用者が登録している。

3-2. 自社採用企業からスカウトを受けたユーザーの属性

次に直接採用に結びつく可能性の高い自社採用企業（人材紹介会社を除いた企業）からスカウトを受けた求職者の属性を見ていくと、該当ユーザーは3,863人。国籍は全体の（国籍未選択者は除く）77%が日本国籍で、性別はほぼ男女半々、男性が若干多い。年代は20代、30代で全体の82%

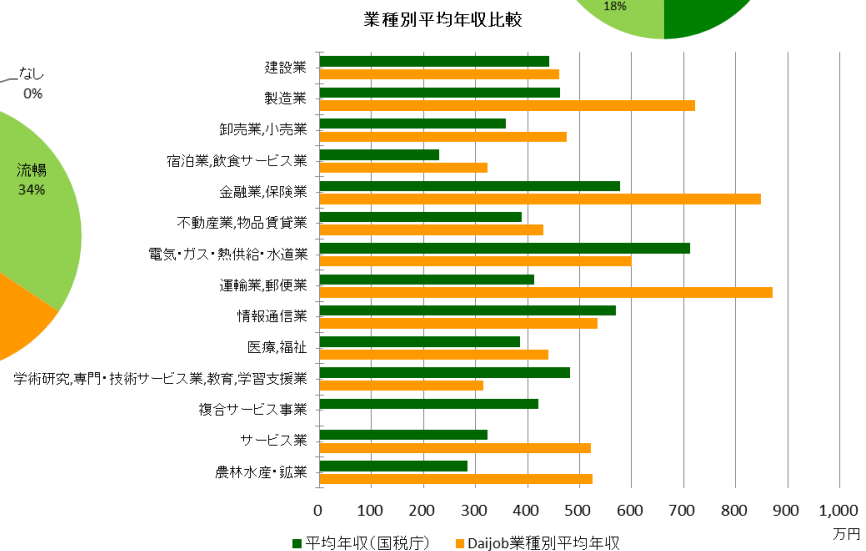
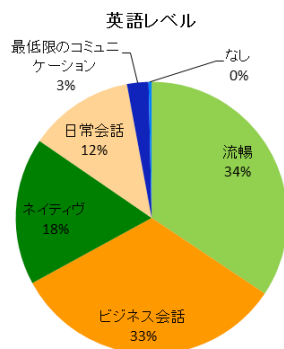
を占めている。学歴は大学（文系）半数で、その後大学（理系）、大学院（修士）が続く。英語レベルは流暢、ビジネス会話、ネイティブレベルを合わせて85%という結果となった。

また対象となったユーザーの年収を業種別に国税庁による民間給与実態統計調査（平成23年分）と比較したところ、10業種についてはいずれも上回る結果となった。



※集計結果に大きく影響する要素（求人数が極端に多い企業や超人気企業など）はあらかじめ取り除いた値

※国籍については未選択のユーザーを除く。



日本標準産業分類	Daijob業種	平均年収(国税庁)	Daijob業種別平均年収
建設業	プラント・建築・建設	441	461
製造業	医療機器メーカー・化粧品メーカー・機械メーカー・産業機器・重電・設備メーカー・自動車・輸送機器メーカー・消費財/FMCGメーカー・精密・測定機器メーカー・食品メーカー・製薬メーカー・繊維メーカー・電気・家電メーカー・半導体・電気・電子部品メーカー・高級消費財その他製造業	462	721
卸売業、小売業	流通・小売・商社・卸	358	474
宿泊業、飲食サービス業	旅行・ホテル・レジャー・外食	230	324
金融業、保険業	その他金融・生命保険・損害保険・クレジット・信販 銀行・証券関連投資・ファンド関連	577	848
不動産業、物品賃貸業	住宅・不動産・施設関連	389	430
電気・ガス・熱供給・水道業	電力・ガス・石油・エネルギー関連	713	601
運輸業、郵便業	運輸・倉庫・物流	413	871
情報通信業	通信・情報サービス関連システムインテグレーター・ソフトウェア(受託開発)・ソフトウェアベンダー、その他IT関連コンピュータ・OA・通信機器メーカー	570	534
医療、福祉	医療・福祉関連	386	440
学術研究、専門・技術サービス業、教育、学習支援業	教育・学校	481	316
複合サービス事業	ファッション・アパレル・アクセサリ関連ITコンサルティング・インターネット・プロバイダー関連・アウトソーシング・ゲーム関連、その他コンサルティング・マスコミ・広告・出版・印刷・放送ビジネスコンサルティング・マーケットリサーチ・シンクタンク・人材紹介会社 派遣会社・リース・レンタル・官公庁・団体	420	-
サービス業		322	522
農林水産・鉱業	化学・石油メーカー・鉄鋼・金属・非鉄	284	524

※業種別の平均年収については Daijob.com サイト内での業種の分類を総務省：日本標準産業分類（平成 19 年 11 月改定）を基に区分。

<http://www.stat.go.jp/index/seido/sangyo/19-3-1.htm#a>、(参照 2013-7-1)。

3-3. 自社採用企業からスカウトを受けた日本人ユーザーの属性

さらに日本人の英語力がどの程度転職活動に影響するのかを調査するために、国籍を日本、そして直接採用に結びつく可能性の高い自社採用企業（人材紹介会社を除いた企業）からスカウトを受けたユーザーに絞って調査を行った。なお、いずれの集計の際にも、集計結果に大きく影響する要素（求人数が極端に多い企業や極めて人気の高い企業など）はあらかじめ取り除いた。

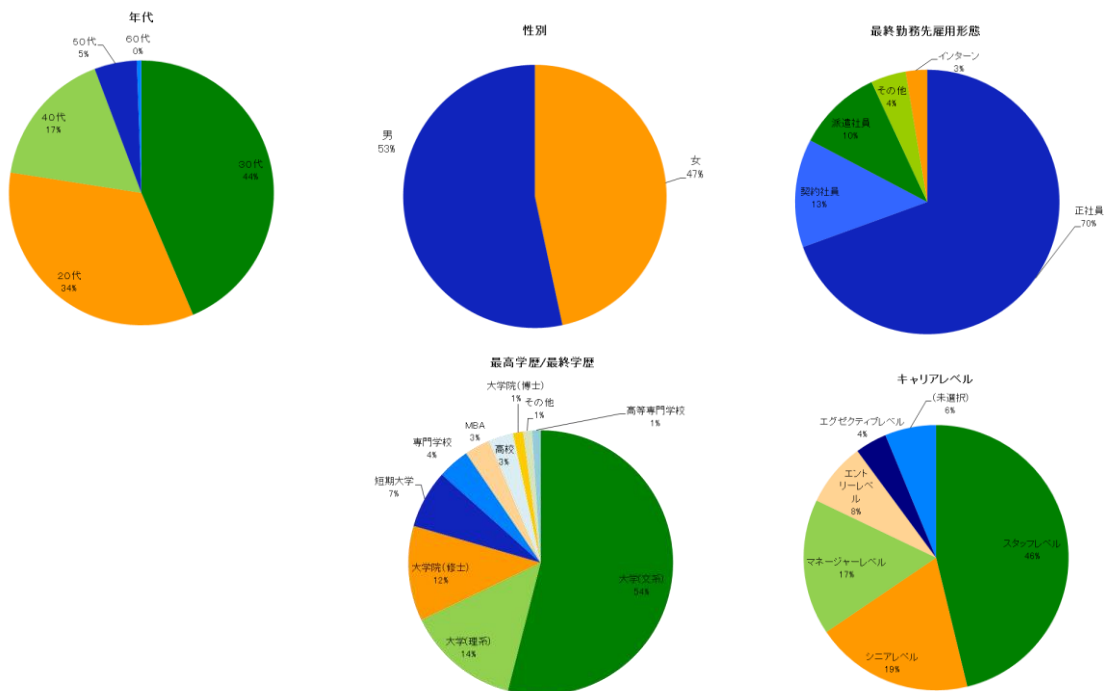
2013年3月から5月の間に自社採用企業からスカウトを受けた日本人ユーザーは2,530人。

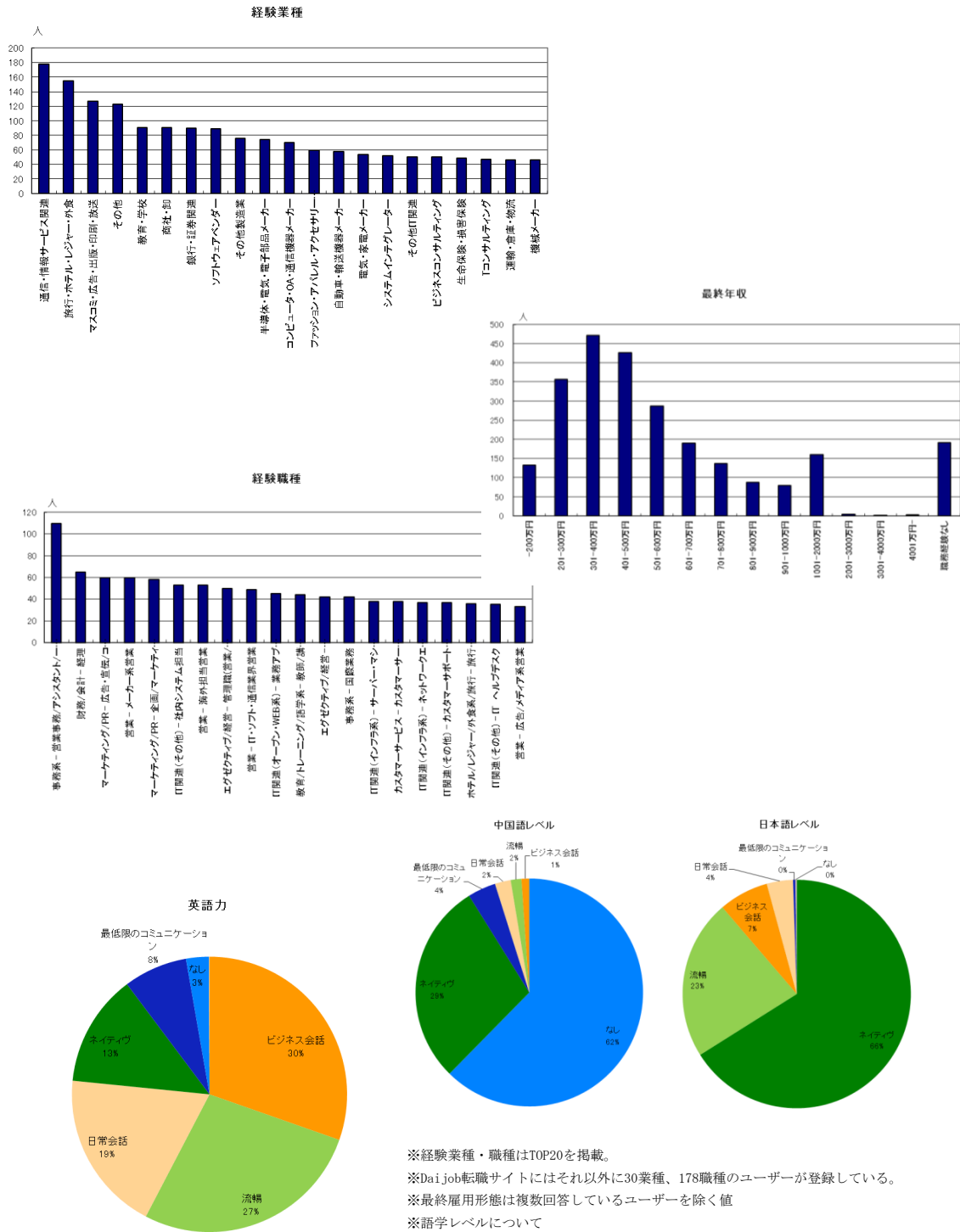
年齢を見てみると30代が全体の44%、続いて20代が34%。性別はほぼ半々だが若干男性が多い。雇用形態は正社員が一番多く最終学歴は大学（文系）が半数を超える。キャリアレベルはスタッフレベルが全体の46%と一番多い。

年収は300万円～600万円がボリュームゾーンで、経験職種は事務系が多く経験業種は通信・情報サービス関連、旅行・ホテル・レジャー・外食が続くものの、経験職種・業種共にばらつきがある。

英語レベルについてはビジネス会話・流暢レベルで75%を占め、ネイティブレベルを合わせるとその割合は85%である。また日常会話レベルのユーザーは全体の13%おり、「最低限」や「なし」と登録しているユーザーは3%しかない。また上記調査同様、参考データとしてその他の外国語スキルについて調べてみると、母国語と英語以外の外国語スキルがあるユーザーは全体の26%（668人）であった。

なお企業からスカウトを受けたユーザーのうち英語レベルがネイティブ・流暢・ビジネス会話レベルのユーザーの内、63%は人材紹介会社からもスカウトを受けており、逆に日常会話以下の英語レベルのユーザーの人材紹介会社からのスカウト受信率が46%であることを考えると、より英語レベルがビジネス会話レベル以上のユーザーに雇用チャンスが多いと言える。





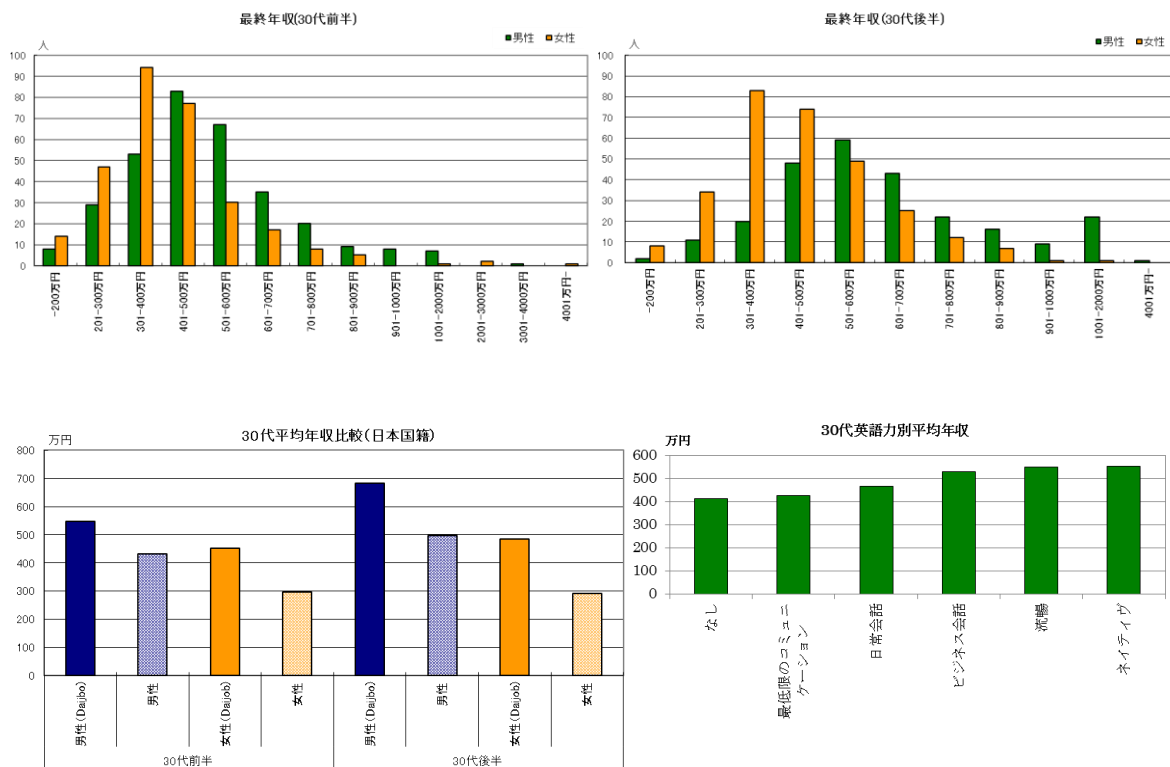
※語学レベルについて

流暢：TOEIC865以上

30代では、30代前半(30-34)の平均給与は385万円(男性:433万円 女性296万円)。30後半(35-39)

の平均給与は425万円（男性：497万円 女性：292万円）。この平均年収をDaijob.com調査対象者と比較すると30代前半平均給与は499万円（男性：548万円 女性：450万円）、30代後半では583万円（男性：683万円 女性：484万円）であり、国税庁の調査での平均給与と比較すると、30代前半で1.3倍（男性：1.27倍 女性：1.52倍）、30代後半では1.37倍（男性：1.37倍 女性：1.66倍）。特に女性の平均給与は30代では1.5倍以上高いという結果が出た。

また、英語力別の平均年収を見てみると、英語力がネイティブレベルのユーザーの平均年収は英語力なしのユーザーの平均年収の1.3倍であった。



※年収が円建て以外のものに関しては2013年6月29日時点の為替レートを参照して円建てに変更し計算した。

※年収の平均に大きく影響を与える極端値は除く。

※職務経験なしのユーザーデータは除く。

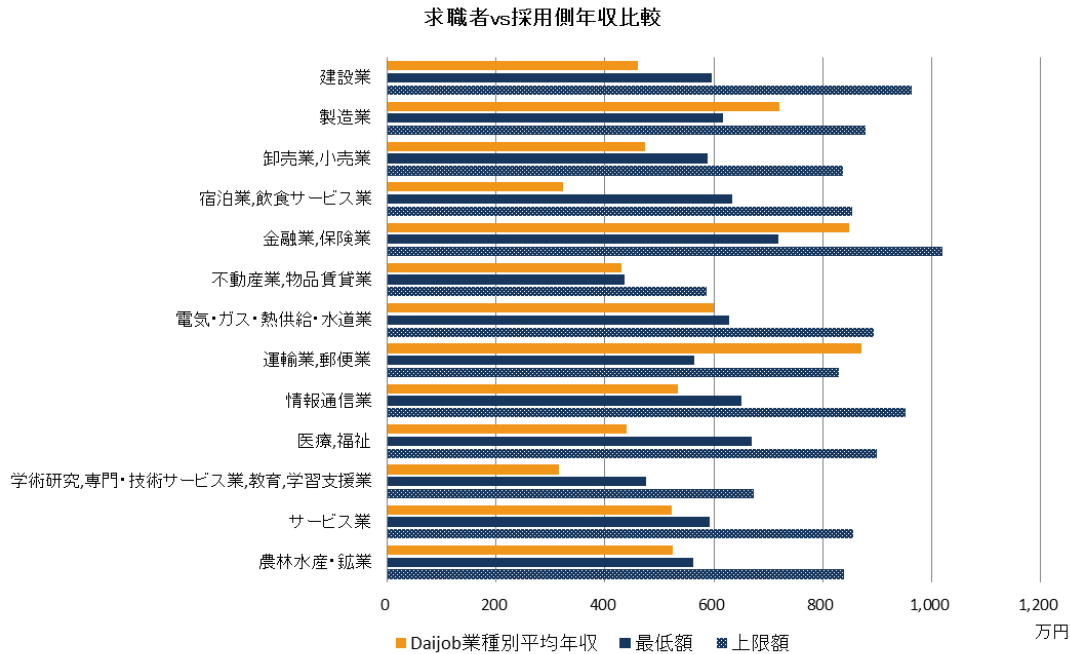
3-4. 採用側の必要スキルとしての語学力と想定年収

最後に採用側のニーズを探るために2013年3月～5月の間の掲載求人9,711件のうち英語レベルをビジネス会話以上に設定していた3,492件について集計を行った。（想定年収を経験と能力に基づく設定していた求人と求人種類が派遣となっていた求人は除く。）

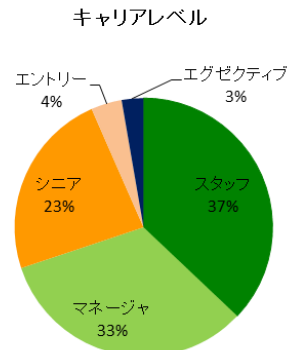
まず、希望するキャリアレベルはスタッフレベル、マネージャーレベル合わせて70%という結果となった。全体での平均年収は570万円～840万円。スタッフレベルでの平均年収は465万円～685万円であり、マネージャーレベルでの平均年収は710万円～985万円であった。（今回の調査した掲載求人全体とキャリアレベル別での平均年収とは設定された想定年収のうち全体の半数以上を占める最低額と上限額をマジョリティと仮定して、それぞれの平均を出したものとなっている。）

次に業種別での最低額と上限額平均をDaijob.comユーザーと比較してみると、運輸業・郵便業ではユーザーの平均年収の方が高いという結果となり、また製造業や金融業・保険業ではユーザー

の平均年収が掲載求人の想定年収最低額と上限額の間に位置しているが、それ以外の10業種においては掲載求人設定されている年収が上回る結果となった。



万円		
全体	最低額	570
	上限額	840
スタッフ	最低額	465
	上限額	685
マネージャー	最低額	710
	上限額	985
Daijobユーザー	平均年収(全体)	567



※業種は、総務省：日本標準産業分類(平成 19 年 11 月改定)を基に区分。http://www.stat.go.jp/index/seido/sangyo/19-3-1.htm#a, (参照 2013-7-1)

4. 考察

調査結果から一定以上の英語力を有する求職者の採用側のニーズは高く、英語力が年収に影響を与える事が検証できた。特に 30 代でその傾向が高く、更に英語レベルが上がるほど年収が上昇する結果となった。

平成 13 年度から平均給与が年々減少（国税庁による民間給与実態統計調査：平成 23 年分）している中でも、英語力というスキルは確実に採用側企業に評価されている事が分かった。昨今、日本企業のグローバル化が叫ばれる中、関連する業界や職種での経験に加えてビジネス会話以上の英語力を併せ持つ人材が不足している事が想定年収を吊り上げる要因となり、その傾向は日本企業のグローバル化と共に今後も高まっていく可能性が高い。

【参考資料】

国税庁. 民間給与実態統計調査. 平成 23 年分, <http://www.nta.go.jp/kohyo/tokei/kokuzeicho/minkan2011/pdf/000.pdf>,
(参照 2013-7-1)

総務省. 日本標準産業分類. 平成 19 年 11 月改定, <http://www.stat.go.jp/index/seido/sangyo/19-3-1.htm#a>, (参照
2013-7-1)

産学人材育成パートナーシップ グローバル人材育成委員会. 報告書～産学官でグローバル人材の育成を～. 2010 年 4 月,
<http://www.meti.go.jp/press/20100423007/20100423007-3.pdf>, (参照 2013-7-1)

(一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会. 上場企業における英語活用実態調査. 2013 年,
http://www.toeic.or.jp/toeic/pdf/data/katsuyo_2013.pdf, (参照 2013-7-5)

以上

■会社概要■

ダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社

- 代表者 : 代表取締役 篠原 裕二
- 所在地 : 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿木村屋ビル
- 事業内容 : パイリンガルに特化した就職・転職の求人広告事業
- 資本金 : 1,000 万円
- ホームページ URL : <http://hi.athuman.com/> ●運営サイト <http://www.daijob.com>

■本件に関するお問い合わせ■

事業推進室

TEL : 03-5925-6543

FAX : 03-6894-7005

Email : daijobhrclub@daijob.com